

## 山川議員 要望項目一覧

令和元年度6月補正分

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
<p><b>鳥取大医学部付属病院前の県道の渋滞緩和策について</b></p> <p>米子市西町にある鳥取大医学部付属病院は、県内唯一の特定機能病院であり境港、西伯郡、中部等の広域連携による県内医療を支える重要な拠点病院である。そのため利便性の向上は必要である。しかしながら外来患者の予約数約 1600 人が、車の入口が一つしかないことによるゲート待ちを原因として、医大前の県道（主要地方道：米子境港線）で渋滞している現状である。この現状は県内外の医大利用者のみならず県道利用者にとって早急に解決を図る必要があるものと考えられる。</p> <p>そこで、県（西部総合事務所米子県土整備局計画調査課）に平成 30 年 10 月 29 日に要望活動を行った所、県（上記担当課）が同年 12 月 10～11 日に現地確認されたが、医大において第 2 駐車場の駐車台数を約 130 台増設されることに伴い、県からは案内板の設置検討をお願いした、との回答だった。</p> <p>しかしながら、第 2 駐車場の駐車台数が増えたといっても、医大駐車可能総台数及び外来患者の予約数の 1 割程度にも満たず、渋滞緩和には到底及ばない状態である。</p> <p>また増設された駐車場は医大前の県道を挟み、高齢者や病人は横断に手間取ったり、事故発生の危険性も予測されうる。なお立体駐車場は運転が苦手な高齢者や女性にとっては苦慮するため、渋滞緩和の抜本的な解決にならないものと考えられる。</p> <p>そこで医大前の渋滞緩和解消に向け 3 点対策を講じられたい。</p> <p>①道路管理者である県と医大が協議し、車の入り口の分散化等を視野に入れた調査に関して協力して実施（例えばドローン等による医大周辺の通行量調査・分析）</p>	<p>鳥取大学医学部付属病院に隣接する既設駐車場の容量不足と入口が一つしかないことが渋滞の原因であることから、駐車場と入口の設置者である鳥取大学医学部付属病院が、現在整備を進められている第 2 駐車場（令和 2 年 3 月完成予定）の整備効果も踏まえながら、現状を調査し、対策を検討されるものと考えているが、県としても技術的助言を行っていききたい。</p> <p>検討の結果、県道米子境港線への入口の新設や位置変更が必要となった場合、道路管理者である県の承認が必要となることから、調整が円滑に進むよう県としても相談に応じていききたい。</p>
<p>②境港から医大に入る線と米子駅から医大に入る線の混線を解消するため、押しボタン式点滅信号の制御（例えば右折矢印の設置等）</p>	<p>第 2 駐車場整備後の交通状況の変化を見て、医大等、関係機関と連携しながら交通の安全と円滑化に努めていく。</p>
<p>③案内板設置の際、県道占有に関する協力の</p> <p>医大前の県道の渋滞解消を図ることは、効果が見えやすいと同時にドローン等最先端技術の活用による社会問題解決を交通施策のみならず今後の医療等様々な分野への活用が可能となり、未来の鳥取県に繋がる要因であるものと信じている。</p>	<p>鳥取大医学部付属病院の駐車場案内看板は、鳥取県道路占用料等徴収条例第 3 条(1)「公共の用に供し、又は公益上必要な事業を実施するため占用するとき」に該当し、減免対象となると考えられるので、占用（減免申請含む）が申請されれば、速やかに審査を行い適切に対応したい。</p>